

## 農家所得向上について

質問（高崎和夫議員）若者にも魅力ある農業にしていくなめ、農家所得向上の基本的な考え方について伺います。

答弁（市長）本市における農業は、米・麦・大豆等の土地利用型作物を中心とした営農が継続されて来ましたが、米価下落の中、農家経営の安定化を図るため、水稲と園芸作物や畜産との複合経営への転換が必要不可欠となつてきています。このため、本市では、市単独補助事業により農業者

の積極的な取り組みを支援しているところであり、園芸の振興については、平成十八年度からパイプハウスを利用した園芸作物生産を誘導するため施設整備費の一部を助成する園芸拡大支援事業を、本年度は新たに耕畜連携の中でアスパラガスの生産を奨励するためのアスパラガス生産拡大事業を新たに創設するとともに、保冷库導入事業、廃ビニール処理対策事業等を継続して支援しています。畜産につ

いても畜産環境対策事業、繁殖和牛優良雌牛導入事業、繁殖和牛受精卵移植普及推進事業等を継続して実施し、畜産の振興を図っています。また、認定農業者制度は農業者自身が自己の経営目標とそれを実現するための経営改善方策を明確にすることを目的としており、農政転換の中で今後の農業経営目標を明確にするとは今まで以上に重要と考えますので、今後とも認定農業者の育成に取り組んでまいりたいと考えています。



多くの天然あゆが遡上する清流那珂川

## 那珂川天然あゆ資源の活用について

質問（益子若夫議員）本市の貴重な観光資源である那珂川の天然アユの地元活性化も含めた活用について伺います。

答弁（市長）那珂川は清らかな流れから「四万十川をもしのぐ清流」とその評価は非常に高く、また天然あゆが数多く遡上するあゆ釣りのメッカとして、その地位を不動のものとしています。平成十六年の農林水産省の内水面漁獲統計調査においても、同水系のあゆの年間漁獲量が八百八十

トンと、第二位の相模川水系の四百二十七トンを大きく上回る全国第一位の座を占めており、那珂川のあゆ資源が非常に豊富であるという事実を示しております。

こうした環境を背景に、全国レベルのあゆ釣りイベントが本市を会場として数多く行われました。これらの大会には百名から多いときには五百名を超える参加があり、全国各地から釣りが集まります。また、大会の開催告知や結果

のレポートを主催企業のホームページ等で公開したり、大会の様態をテレビで放映したりと、本市及び那珂川を広くPRしていただいています。市としても、広告効果の非常に高いこれらのイベントの運営等に対し積極的に協力することにより、今後とも本市において全国レベルの大会が数多く開催されるよう働きかけを行い、天然あゆが多数遡上する環境を活用して、全国に本市及び那珂川の素晴らしさを発信していきたいと考えています。



農家所得向上には複合経営への転換が必要  
(道の駅で販売されているアスパラガス)